

タブレットを使って

<1 学期>

国語「4年O組から 6月のニュースを知らせよう」の学習で、グループごとに新聞を作成しました。1学期末に子供たちが持ち帰った新聞はご覧いただけましたでしょうか。

この学習のねらいは、「学校生活の様子を、分かりやすく家に伝える」です。どのグループも、クラスの様子が分かりやすく正確に伝わるようにと、記事の構成や見出しにこだわって作成していました。

記事の文章構成を考える際には、クロームブック内の学習支援アプリ「Jamboard」の付箋機能を活用しました。付箋機能の良い点は、自分の考えを書いた付箋を好きな場所にすぐに移動させることができることや、一度付箋に書き込んだ内容を素早く修正できることです。さらに、同じグループの友達がどのくらい新聞づくりを進められているか、互いにいつでも確認できます。子供たちは、付箋機能を活用し、記事の構成を何度も考え直したり、グループ内でアドバイスし合ったりして、意欲的に学習に取り組んでいました。



<2・3学期>

国語「クラスみんなで決めるには」の学習では、2つの議題で学級会を行いました。1つ目の議題は、「リクエスト給食について」。このときに決まったメニューのいくつかは、1月の献立に採用され、子供たちはもりもりと食べていました。そして2つ目の議題は、「ドリームフェスティバルで出すお店について」。こちらは、子供たちがとても楽しみにしている行事なので、話し合いも盛り上がりました。

この学習のめあては、「役割を意識して話し合いを行う」ことです。学級会では「司会グループ」がどうしても注目されがちですが、「参加者」「提案者」など、他にも役割があります。自分が担当する役割を理解し円滑に学級会が進められるようになるために、めあてを意識して学級会に参加させました。回数を重ねるごとに、自分の役割に沿って進行したり、発言したりする姿が増えました。

学級会の振り返りでは、タブレット内のドキュメント機能を使用しました。「うまくいったこと」「うまくいかなかったこと」を記録させ、次の学級会で生かせるようにしました。子供たちはタイピングもずいぶん速くなり、振り返りに集中していました。